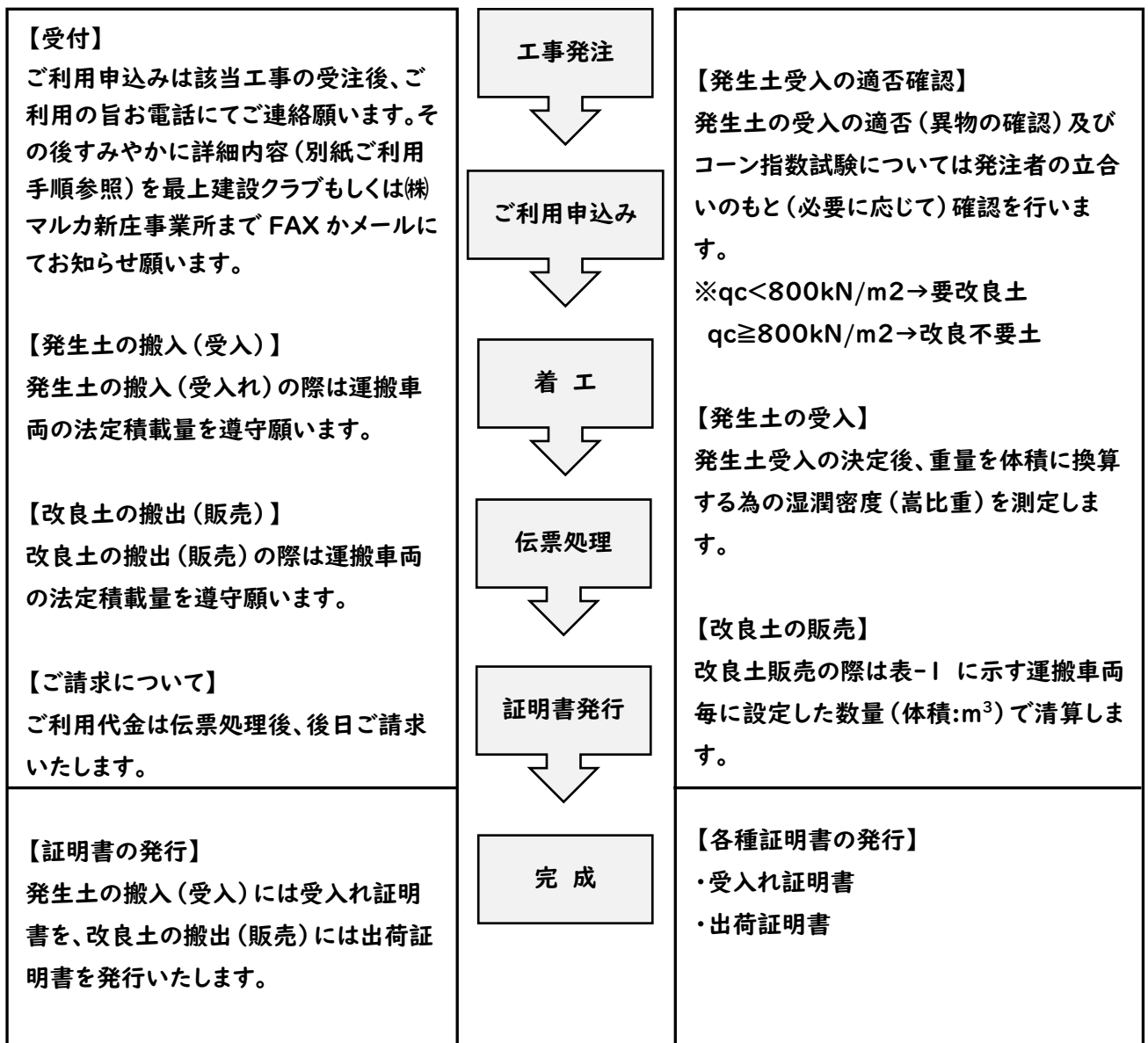
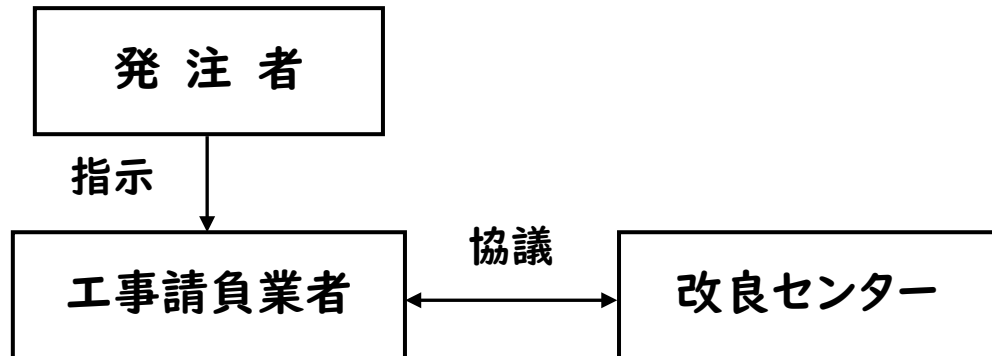


**最上地区建設発生土改良センター
ご利用案内**

令和 8 年 4 月

**一般社団法人 最上建設クラブ
最上地区建設発生土改良センター**

改良センター利用フロー



改良センターのご案内

1. 営業範囲

最上総合支庁管内一円及び近隣地区

2. 受け入れ施設

(1) 鮭川改良土センター

処理能力 300~400m³/日 (鮭川村大字川口字天狗森 722-1 他)

ストック土量 V=48,936m³ (土石の堆積許可申請書記載の最大堆積土量)

発生土と改良土の合計土量)

(2) 福田山ストックヤード

処理能力 100~200m³/日 (新庄市大字福田字福田山 711-33)

ストック土量 V=7,000m³ (土石の堆積届記載の最大堆積土量)

(3) 鳥越ストックヤード

処理能力 100~200m³/日 (新庄市大字鳥越 1488-33, 1488-58)

ストック土量 V=7,517m³ (土石の堆積届記載の最大堆積土量)

※発生土の性状や物理特性、気象状況によって異なります。

3. 営業時間

営業時間は原則として年末年始休暇及び夏季休暇の他、土曜日・日曜日を除く午前 8 時~午後 4 時までです。別紙休日カレンダーをご参照願います。上記以外の日については相互協議の上決定します。尚、冬季間(積雪期)や降雨等が激しい場合(異常気象時)、設備メンテナンス等の諸事情によっても受け入れできない場合がありますので予めお問い合わせ願います。

4. 発生土の受入れ条件

(1) As 塊・Co 塊・木くず・ごみ類・金属等の異物が混入しない事。

(2) 腐植土や高有機質土でない事。

(3) 普通ダンプトラックでの運搬が可能である事。

(4) 水素イオン濃度 (pH) が中性域である事。pH が酸性の場合は生石灰のアルカリにより異常発熱を起こし、含有成分によっては有毒ガスを発生する恐れがあります。

(5) 原則 φ300mm 以上の礫率が高い発生土は受入れ出来ません。

※上記、(1)、(2)、(3)、は目視にて当センター係員が行います。

(4)、(5)は当センター実験室にて係員が実測定します(所要時間合計 20 分程度)。

※土壤汚染対策法に基づく指定区域等からの汚染土壌の受入れはできません。

※礫率が高い場合は別途分級費用が発生する場合がありますので事前にご相談願います。

※発生土のコーン指数が 800kN/m^2 以下の場合は要改良土（受け入れ単価 $5,800\text{ 円/m}^3$ ）として、 800kN/m^2 以上の場合は改良不要土（受け入れ単価 $5,000\text{ 円/m}^3$ ）として取り扱います。いずれも令和 8 年 4 月度の山形県設計単価です。

5. 改良土の取扱い及び割増率

(1) ご購入いただいた改良土は生石灰による改良土の為、現場搬入後は速やかに締固めを行うか、シート等で覆い、できる限り降雨等の影響を受けないよう養生してください。

(2) 改良土の使用においては工事目的に合致するか確認してください。

(3) 土量変化率の内、締固め率は $C=0.8\sim0.9$ （20～10%の体積減）、ほぐし率 $L=1.25\sim1.30$ （25～30%の体積増）。ロス率は5%程度。

※上記、土量変化率は一般的な土と同じですが、発生土の土質（粘性土 or 砂質土）や粒度分布、含水比や比重等の物理特性、気象状況によって異なります。

6. 改良土の品質管理について

(1) 改良土の品質管理は物理試験の他、コーン指数及び室内 CBR とし、コーン指数は $q_c \geq 800\text{kN/m}^2$ 、 $CBR \geq 20\%$ を品質規格とします。コーン指数や CBR 以外の品質、土質定数については事前に別途ご相談願います。試験によっては別途料金がかかる場合がありますので、事前にご相談ください。利用用途は補強土壁用土やかご石、再利用碎石、岩ズリ、刃金土等としてのご利用が可能です。

(2) コーン指数及び室内 CBR 試験の頻度は原則年 1 回、物理試験（含水比・嵩密度）は持ち込み現場ごとに実施します。また、粒度調整の為の簡易粒度分布試験（沈降分析無し）は概ね $1,000\text{m}^3$ に 1 回実施します。その他、降雨等の影響により改良土品質に変化があったと認められる場合はその都度、品質規格試験を追加実施します。

(3) 改良土の最大粒径は密度管理の際のサンプル量や各種強度試験のモールド選定に及ぼす影響が大きい事、また人力数均し時の作業性等を考慮し、必要に応じて 100mm 以下への分級が可能です。 100mm アンダー品をご注文の際にも別途分級費が発生する場合がありますので、事前にご相談ください。

7. 改良材の種類

改良材は生石灰を使用します。但し、事前の発注者指示によってはセメント系固化材の使用も可能ですが、六価クロムの溶出試験費用は別途ご負担願います。

8. 発生土・改良土の検収方法

発生土の受入れ及び改良土の搬出はその体積 (m^3) で精算します。その際の土量検収にはトラックスケールによる重量 (t) 測定後、事前に測定したそれぞれの土の湿潤密度「嵩密度」 (t/m^3) で除し、土量 (m^3) とします。表-1 に各種運搬車両ごとの積込み可能体積 (目安) を、表-2 に土質ごとの湿潤密度「嵩密度」 (目安) を示します。

表-1 各種運搬車両ごとの積込み可能体積 (目安)

車両種類	2t 車	4t 車	10t 車	セミロング	ロング
改良土の積載量 (m^3)	1.5	2.5	5.5	6.5	7.5

表-2 土質ごとの湿潤密度「嵩密度」 (目安)

土質	シルト	密な粘土	ゆるい粘土	有機質土
湿潤密度 (g/cm^3)	1.70	1.65	1.50	1.40

※表-2 の嵩密度は目安です。実際の嵩密度は現物を測定して決定します。

9. 1 日当りの搬入許容台数

10t車で 100 台程度まで……事前にお打合せ願います。

10. 1 日当りの許容販売台数

10t車で 50 台程度まで……事前にお打合せ願います。

11. 発生土受入及び改良土の販売価格

- ・発生土の受入価格 (要改良土: $q_c < 800 \text{ kN}/\text{m}^2$) ……5,800 円/ m^3
- ・発生土の受入価格 (改良不要土: $q_c \geq 800 \text{ kN}/\text{m}^2$) ……5,000 円/ m^3
- ・改良土の販売価格 ($\text{CBR} \geq 20\%$ 以上) ……2,300 円/ m^3
- ・改良土の販売価格 (コーン指数 $\geq 800 \text{ kN}/\text{m}^2$ 以上) ……2,100 円/ m^3

※単価適用日によっては上記単価が変わりますので、工事実施設計書に記載の「単価適用日」を必ずお知らせください。

以上

※本ご案内は予告なく変更する場合があります。

※設備メンテナンス等の諸事情により受け入れできない場合がありますので、発注者様におきましても事前にお声がけいただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

※改良土の利用用途に応じた個別品質（透水係数や三軸圧縮試験 CU パーなど）のご相談も賜りますので事前にご相談願います。